



会高同窓会報

No. 46

2016年(平成28年)

9月11日(日)

編集・発行／福島県立会津高等学校同窓会事務局／発行人：会津高校同窓会会長 新城 猪之吉
〒965-0831／☎：0242-28-0211代／FAX：0242-28-6680／会高ホームページアドレス／<http://www.aizu-h.fks.ed.jp>



平成 27 年度同窓会総会



会津高校同窓会 会長

新城 猪之吉
(高21回)

日本一をめざして

会津高校合唱部が日本一になった。それも二連覇だ。

近年金賞はとってはいしたが、それと日本一との距離は近いようでとても遠い。

しかし、たどりついた。感動である。この遠い道のりをどう乗り越えたのか？

プロのように朝から晩まで練習ができたわけではない、勉強の合間のわずかの時間の練習なのである。

私のいる酒造業界でも福島県の酒蔵が日本一になった。全国新酒鑑評会という我が業界で最大のコンクールである。そこで金賞をとる事をみんなで目指してきた。この11年の間に金賞受賞蔵数日本一に6回もなった。

今年も日本一になり四連覇を達成した。

かつて福島県酒の品質評価はかなり低かった。というより問題外であった。あるデパートで福島県の酒フェアをやった時、ぼろくその評価を受け、とても悔しい思いをしたことがあった。杜氏の高齢化が進み、杜氏の職人制度の危機がひしひしと福島県内に伝わってきた。25年前酒造りの為の職業訓練校が福島県の協力のもとで、出来た。そこは蔵の後継者や社員に学んでもらう場となった。素晴らしい講師陣にもめぐり合った。そして会津杜氏組合も結成し、もう一つの勉強の場も作った。学ぶメンバーはすべてライバル、だから負けたくない相手なのに、共に学ぼうという気持ちは強い関係になった。震災の後、その関係はより強固になったと思う。お互いの造ったものを率直に評価し合い、本音で語り、友情が生まれ、一体化ができた結果が日本一と

なったのだ。

合唱もその通りであろう。

福島県も会津も日本一といえるものが他にあるだろうか？勉強でもスポーツでも子供達に可能性がないのか？会津の子たちは、よそより劣るのか？そんなバカな事はない。かつて日新館という日本一の藩校があり、素晴らしい卒業生が沢山いた。

その人達が全国に飛び、活躍の足跡を残した。他の県では顕彰すべき人が限られているからその人に集中されるが、会津は多すぎて絞れない、早く会津若松市に「偉人館」を作ることを目指す。

秋田県が小中学の全国統一テストで日本一をとり続けている。この成果は徐々に表れると思う。

では、福島は、そして会津は何を目指しているのか？

会津高校も会津中学時代は県下一であったはずだ。

それが今では低迷状態が続く、それに慣れてしまっているようである。

会津つ子宣言で精神の基礎はある、小中高の一貫性のある教育など、やり方は色々考えられる。しかし、望まない限り何かなわらない。

日本一をめざそう!!

日本一のものを作るには開発する技術者も大変、農家も大変、我々使う方も大変だ。しかし、大変じゃないと日本一のものなんか作れないのではないかと考えた。

大変なことにこそ価値があるのだから。

この四月に会津学鳳高等学校から会津高校に着任いたしました山内正之と申します。

同窓会の皆様には、常日頃より母校に對しまして、多大なご支援を頂戴しておりますことに心より御礼申し上げます。

私は本校29回、昭和51年度の卒業でございます

教員としては中通りの勤務が長くございましたので、卒業から約40年ぶりに母校に戻って参りました。着任式で生徒とともに校歌をうたい、胸が熱くなりました。若松市内、旧若女（旧制会津中学校の石碑があります）の前、追手町に実家があります。教員生活の残り3年、微力ではありますが、母校のために全力を尽くす所存ですので、なにとぞよろしくお願いいたします。



校長 山内正之

母校に着任して

この4月から6月にかけて、在京、北海道、中部地区の各同窓会へ出席し、着任のご挨拶と本校の現況についてお話ししました。それぞれの地で大先輩方が、「よく来てくれた。」と心から歓迎してくださいました。会津から遠く離れた地で活躍されているだけに、会員の方々の団結力も強く、故郷や母校に対する熱い思いがひしひしと感じられました。素晴らしい先輩方に応援されていることを実感し、感激すると同時に責任の重さに身の引き締まる思いがいたしました。

さて、ここまでの生徒たちの活躍を紹介しますと、ボート部、陸上部の全国インターハイ出場、野球部の6年ぶりの春季地区大会優勝、白虎隊土墓前祭等での見事な剣舞の披露などめざましい活躍を見せてくれ、学業と部活動の両

立を見事に果たしております。これから秋の深まりとともに、合唱部をはじめ文化部の活躍が期待できます。

また、昨年度、県から指定を受けた「復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業（以下GL）」を、さらに充実させていきたいと考えております。アメリカ研修、東北大学等の研究機関での研修、地元会津に軸足を置いた課題研究に加え、台湾研修を実施する予定であります。

ちなみに、今年3月、アメリカのボストンで、行った県産食品の安全性をアピールする「米の全量全袋検査」のプレゼンテーションは、会津農林事務所からも注目され、普及広報誌「みどりのたより」にも紹介されています。

GLは、SSHと違い文系理系を問わず取り組むことができます。GLに取り組むことによつて、今後強く求められるであろう主体性や課題発見・解決能力、コミュニケーション能力、リーダーシップなどが身に付き、結果として進路実現に結びついていけば素晴らしいと考えます。

進路に関して言えば、大学合格者数の増加もさることながら、本校に期待される、難関大学への合格者を安定して出していくことが、より重要であると考えております。

いずれにしても、このように生徒たちが、生き生きと学校生活を送ることができますのも、同窓生の皆様の温かいご声援、ご協力の賜であり、改めて感謝申し上げます。

今後とも、皆様の母校へのご支援をお願いし、ご挨拶といたします。

■山内 正之先生プロフィール

昭和33年生れ 高29回卒。
勤務地。県立聾学校。田村高校。安積高校。福島女子高校（橘高校）。県教育庁指導主事。会津学鳳高校教頭。白河旭高校教頭。県教育庁企画主幹。会津学鳳中・高校長。現職

目次

日本一を目指して 同窓会長 新城猪之吉
母校に着任して 学校長 山内 正之

2 1

平成27年度総会報告

3

●記念講演（概略）

平成27年度会務報告・平成28年度事業計画案

4

平成27年度決算報告 平成28年度予算案

5

四地区から

在京地区同窓会
関西地区同窓会
中部地区同窓会
北海道地区同窓会

9 8 7 6

支部活動

塩川支部総会・南会津支部総会
下郷支部総会・会津高田支部総会・観桜会
猪苗代支部総会・河東支部総会

12 11 10

学年便り

中45回・中51回・中52・53回・
中55回・高2回
高4回・高6回・高7回・高8回
高10回・高12回・高13回
高14回・高16回・高17回・高18回
高28回・高43回・44回・45回・高53回

17 16 15 14 13

平成27年度同窓会総会報告

本年の同窓会総会は9月6日(日) ワシントンホテルで開催され、240余名の参加があった。

総会に先立って、10時30分より母校「やすらぎの碑」前にて、この一年間の物故恩師・会員のご冥福を祈って献花式が行われ、30余名が参列した。

総会は12時30分より開始、黙祷、校歌斉唱の後、会長の挨拶、母校校長・PTA会長・会津若松市長のご祝辞が続き議事に入った。

議長は高30回が当番で石原康嗣氏が選出された。先ず、昨年度の会務報告・会計報告(別掲)を承認し、続けて役員改選では、東海林副会長(河東支部長)の退任を受けて、新副会長に須田敬氏(塩川支部長)が選出され、他の役員は全員留任として承認された。次に本年度事業案・予算案(別掲)について審議し満場一致で承認された。

引き続き27年度版同窓会会員名簿発行の件と協賛金の現状について説明があり、最後に「学而さらく会」より同窓会へ金一封の贈呈をして、すべての議事終了となった。

恒例記念講演会は「日本の国家戦略とは？」と題して、講師の渡部恒雄氏(34回)が熱く語られた。(内容は別掲) 続いて15時30分からの懇親会では、来賓代表として在京同窓会長石田桂久氏(10回)のご祝辞をいただき、北海道同窓会幹事長間部賢司氏(13回)から乾杯のご発声があつて祝宴となった。宴もたけなわとなったところで、小熊氏(39回)の指揮で凱旋歌を何度もリピートし、永田氏(13回)によるお祝の「拍手」で参加者の健康と長寿を祈願し、来年の再会を約して中締めとなった。

記念講演 『日本の国家戦略とは？』(概略) 講師 渡部 恒雄氏(高34回)



作っていったのである。

ところで、このシンク・タンクには、日本人も学びに来るが、大抵は2〜3年で帰国してしまう。10年も居てみて、肌で感じるのは、米政府に絡む要人たちもその立場、持ち場に添って、ここにきて学習研究を真剣に行っていることだ。リニューアルを図っては、元へ還っていったり、新職域で活躍したりしている。

米国は中国に対して、決して終始敵対しようというのではない、荒立てず、経済で自国の国益を見失わず、日本との共同作戦を維持しつつも、中国から完全に縁を切ることはしない。どうやったら中国とも仲良くやって行けるかを、常時考えている。封じ込め政策(コンティンメント)では決してなく、協調政策(エンゲージメント)を進めようとしている。『協力の習慣』を作ってもらうように促すブランシングを絶えず考えている。

あとはヘッジ(Hedge)政策を捨てはしない。南シナ海の問題でも、海洋の国際法を守るよう促している。かたや、日本はどうか。まだまだ米国と同列に並んで国際政策を案出するまでには至っていない。

平成28年入試概況
○合唱部○社会弁論部○ポート部○陸上部
部活動の記録
職員寄稿 “理想は永遠に変わらない”

20
22 21 19 18

母校は今

同窓会「会長杯」

- ゴルフ大会 ・役員とスケジュール
- 囲碁大会 ・熊本震災チャリティ
- 将棋大会 ・協賛企業一覧

25 24 23

平成28年度協賛金納入者名

元気な先輩

29

おくやみ

お祝い・会報No.45の正誤表

平成28年度・名簿委員会・学校職員人事異動

・会報編集委員・編集後記

32 31 30

講師プロフィール

昭和38年、政治家渡部恒三氏の長男として生まれる。会津高校・東北大学歯学部卒業後、歯科医となる。社会科学への情熱、止み難くニューヨークの、ニーススクール大学で政治学修士課程修了。米国のシンク・タンク(戦略国際問題研究所)に入所。10年間研究ののち帰国。三井物産戦略研究所主任研究員等を経て、現在東京財団に所属。現在CSIS非常勤研究員、沖縄平和協力センター上席研究員等を兼任。

平成27年度会務報告

(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

1. 平成27年度 総会
日 時 平成27年9月6日 (日)
午後12時30分～午後17時
場 所 会津若松ワシントンホテル
出席者 248名
記念講演 渡部恒雄氏 (高校34回)
演題 「日本の国家戦略とは？」
2. 物故会員追悼慰霊祭
日 時 平成27年9月6日 (日) 午前10時30分
場 所 母校前庭「やすらぎの碑」前
物故会員 恩師8名 会員96名
3. 支部・地区総会出席
南会津支部総会 平成27年 7月 3日 (金)
会津坂下支部総会 平成27年 7月17日 (金)
河東支部総会 平成27年 7月22日 (水)
市役所職員同窓会総会 平成27年10月15日 (木)
塩川支部総会 平成27年10月31日 (土)
下郷支部総会 平成27年11月 7日 (土)
猪苗代支部総会 平成27年 7月23日 (木)
湯川支部総会 平成27年11月14日 (土)
会津高田支部総会 平成28年 5月 1日 (日)
関西同窓会総会 平成27年11月 7日 (土)
在京同窓会総会 平成28年 4月17日 (日)
北海道同窓会総会 平成28年 5月21日 (土)
中部地区同窓会総会 平成28年 6月11日 (土)
4. 会報発行
第45号同窓会報
発行部数7,200部
5. 創立125周年記念会員名簿発行
発行日 平成27年12月11日 (金)
発行部数 3,412冊
6. 「会長杯」ゴルフ・囲碁・将棋大会
開催日 平成28年5月5日 (木)
第8回ゴルフ大会 164名参加 「会津磐梯CC」
第7回囲碁大会 19名参加 「ルネッサンス中の島」
第5回将棋大会 11名参加 「ルネッサンス中の島」
7. 激励金贈呈 (全国大会出場クラブ)
端艇部 7万5千円
山岳部 5万5千円
陸上部 3万円
合唱部 50万円 (2年連続第1位文部大臣賞受賞)
8. 学校行事出席
第68回卒業式 平成28年 3月 1日 (火)
母校離任者送別会 平成28年 3月28日 (月)
平成28年度入学式 平成28年 4月 8日 (金)
母校着任者歓迎会 平成28年 4月28日 (木)
中田浜強歩大会応援 平成28年 4月28日 (木)
9. 各種団体行事出席
戊辰殉難者秋季祭 平成27年10月23日 (水)
白虎隊士秋季墓前祭 平成27年10月24日 (木)
戊辰殉難者秋季祭 平成28年 4月23日 (水)
白虎隊士秋季墓前祭 平成28年 4月24日 (木)
10. 定例幹事会
第1回定例幹事会 平成28年 5月28日 (土)
第2回定例幹事会 平成28年 8月 6日 (土)
11. 各委員会
会報委員会 随時開催
名簿委員会 随時開催
12. 会計監査
開催日 平成28年 7月27日 (月)
13. 役員会
随時開催

平成28年度事業計画 (案)

(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

- | 平成28年 | 平成29年 |
|---------------------------|----------------------------|
| 7月 4日 (月) 県庁職員同窓会総会 | 3月 1日 (水) 第69回卒業式 |
| 7月15日 (金) 南会津支部総会 | 3月下旬 母校離任者送別会 |
| 7月15日 (金) 会津坂下支部総会 | 4月上旬 平成29年度入学式 |
| 7月21日 (木) 激励金贈呈 (端艇部、陸上部) | 4月16日 (日) 在京同窓会総会 |
| 7月22日 (金) 河東支部総会 | 4月23日 (日) 戊辰殉難者春季祭典 |
| 8月 2日 (火) 会計監査 | 4月24日 (月) 白虎隊士春季墓前祭 |
| 8月 6日 (土) 第2回定例幹事会 | 4月下旬 会津高田支部総会 |
| 9月11日 (日) 平成28年度総会 | 4月下旬 中田浜強歩大会応援 |
| 〃 物故会員追悼慰霊祭 | 4月下旬 母校着任者歓迎会 |
| 〃 第46号同窓会報発行 | 5月 5日 (金) 「会長杯」ゴルフ・囲碁・将棋大会 |
| 9月23日 (金) 戊辰殉難者秋季祭典 | 5月中旬 第1回定例幹事会 |
| 9月24日 (土) 白虎隊士秋季墓前祭 | 5月下旬 北海道同窓会総会 |
| 10月下旬 下郷支部総会 | 6月中旬 中部地区同窓会総会 |
| 11月上旬 塩川支部総会 | 7月下旬 会計監査 |
| 11月上旬 関西同窓会総会 | 8月中旬 第2回定例幹事会 |
| 11月中旬 湯川支部総会 | 9月 9日 (日) 平成29年度総会 |
| 11月下旬 猪苗代支部総会 | 〃 物故会員追悼慰霊祭 |
| | 〃 第47号同窓会報発行 |
| | ※ 役員会並びに各委員会随時開催 |

平成27年度決算報告

(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

一般会計

収入総額	4,663,734 円
支出総額	3,939,719 円
差引残高	724,015 円 (次期繰越金)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	58,317	事務局費	185,065
入会金	1,395,000	総会費	158,390
協賛金	2,131,000	会報発行費	780,000
雑収入	79,417	会合経費(地元外)	534,200
繰入金(基金会計より)	1,000,000	会合経費(地元)	91,000
		慶弔費	17,785
		卒業記念品費	260,064
		会議費	122,760
		通信費	266,645
		繰出金(基金会計へ)	1,395,000
		手数料	83,540
		雑費	45,270
		予備費	0
合計	4,663,734	合計	3,939,719

以上報告致します。

一般会計幹事 上野忠紘(高55回)

基金会計

収入総額	26,502,744 円
支出総額	1,660,000 円
差引残高	24,842,744 円

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	22,561,410	全国大会出場激励金	660,000
繰入金(一般会計より)	1,395,000	繰出金(一般会計へ)	1,000,000
繰入金(名簿会計より)	2,542,160		
預金利息	4,174		
合計	26,502,744	合計	1,660,000

財産目録 普通預金	9,707,902円
定期預金	15,134,842円
計	24,842,744円

以上報告致します。 基金会計幹事 古川和則(高41回)

会報委員会会計

収入総額	516,901 円
支出総額	363,032 円
差引残高	153,869 円 (次期繰越金)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	231,849	会議費	52,889
広告収入	285,000	通信費	8,200
雑収入	52	取材費	92,192
		備品費	189,751
		繰出金(会冊定期積立)	20,000
合計	516,901	合計	363,032

以上報告致します。

会報委員会会計 佐藤繁(高42回)

名簿委員会会計

収入総額	3,978,119 円
支出総額	3,238,662 円
差引残高	739,457 円 (次期繰越金)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	1,435,728	歴代校長写真撮影費	73,440
名簿還付金	2,542,160	名簿オプション費	591,600
預金利息	231	名簿表紙絵額縁代	21,598
		記念品代	9,000
		雑費	864
		繰出金(基金会計へ)	2,542,160
合計	3,978,119	合計	3,238,662

以上報告致します。

名簿委員会会計 千葉宏(高8回)

会計監査報告

監査の結果、「一般会計」「基金会計」「会報委員会会計」「名簿委員会会計」について適正に執行されていることを認めます。

平成28年7月27日

監事 宮澤洋一(高26回)
監事 酒井幸一(高27回)

平成28年度会計予算(案)

(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

一般会計

収入 (単位:円)		
科目	金額	備考
繰越金	724,015	前年度繰越金
入会金	1,370,000	5,000円×274名
協賛金	2,400,000	
雑収入	985	利息等
合計	4,495,000	

支出 (単位:円)		
科目	金額	備考
事務局費	200,000	集計作業用品代、役員名刺等
事業費	80,000	学校事業補助
総会費	150,000	同窓会総会補助
会報発行費	750,000	会報印刷費
会合経費(地元外)	450,000	在京、関西、中部、北海道総会
会合経費(地元)	100,000	支部総会、墓前祭
慶弔費	20,000	花環代
卒業記念品費	250,000	卒業記念品、卒業証書用筒代
会議費	100,000	役員会会場費等
通信費	250,000	会報発送、メール便、切手等
繰出金	1,370,000	基金会計へ(入会金)
手数料	90,000	協賛金振込手数料
雑費	50,000	広告代
予備費	635,000	
合計	4,495,000	

※科目間の経費の流用は会長一任

会計幹事 上野忠紘(高55回)

四 地 区 か ら

在京同窓会

「人間力を高めよう」

会長 石田 桂久（高10回）



「人間力」という言葉が頻繁に使われるようになったのは、平成十五年四月、内閣府が設置した「人間力戦略研究会」が「人間力」をテーマとして取り上げられたからと言われています。この報告書で「人間力」を「社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力」と定義していますが、私は、日本人が古くから育て上げた伝統のある価値観であると感じています。

この「人間力」が昨今低下していると思えてなりません。なぜこうなってしまったのか、一つの要因として戦前にあった「修身」という学科が戦後に廃止されたことがあると思えてなりません。「修身」の教科では、家庭での躾け、親孝行、努力、友情、公益、報恩など二十五項目に及ぶ徳目があったそうですが、今の時代でも我々が当然身に着けるべき内容であり、「人間力」の基本であると確信しています。

この「人間力」を磨くポイントとして形から入るのが大切であります。挨拶は明るく、歩きながらでなくキッチンと停止をして、呼ばれたら「ハイ」と爽やかに、立ち上がる時は椅子を机の下に収める、清潔な身嗜みに留意する等々日々の行動が徳目実践のベースになるのです。そのうえで自分を磨き人間力豊かな心を育てていくべきだと考えています。人間力向上は知識の吸収ではなく実践であります。矜持を以って実践しましょう。自分が幼

い頃より教えられた徳目の数々を思い出し、会津という素晴らしい精神性の高い郷土で育ったことを誇りに思い、かつ幸せを感じています。同窓生の皆様と共に人間力を磨き上げ、より良い社会の実現に寄与出来ればと祈念するものでございます。

「活動状況」 幹事長 山寺 清蔵（高17回）

【総会】平成28年の在京同窓会総会は4月17日、上野精養軒に一五〇名余が集り、昨年度の事業・会計・監査報告と本年の催事計画・予算案を拍手多数で承認。次いで高16回の本名正二氏が「プロント三〇〇店、成長の舞台裏」と題して、(株)サントリーに入社後の新規事業立ち上げ裏話を軽妙に話され好評でした。懇親会は会津若松市役所会高同窓会会長で市の健康福祉部長・岩澤俊典氏（高28回）の祝辞に続き、地元・新城猪之吉会長（高21回）の発声で会津若松市条例により日本酒で乾杯しました。宴もたけなわとなると指定の席を離れ先輩や後輩の席に移るなど、会場内のあちこちに歓談の輪が広がりました。

【会津歴史探訪の旅】今年は6月に容保公出自の地・美濃高須（現・岐阜県海津市）と会津籠城戦と一緒に戦った「凌霜隊」の関係地・郡上八幡（同郡上市）を訪ねました。

【文化講演会】7月6日、（高21回）の佐藤正治氏が「プレイ・トゥゲアザー（皆で一緒に合奏）」をキーワードにした社会的プロジェクト「エル・システム」の音楽を通しての人間教育、子供たちをオーケストラで協調性と社会性を身に着けた健全な市民に育てることについて熱く語られました。

【親睦囲碁大会】海の日開催で今年で4回目になります。【会津学生セミナー】新しい企画で、首都圏の大学に進んだ同窓生を対象に将来を見つめ就職活動に役立つものと考えましたが、学生達の住所の把握など、案内に苦

慮しています。

【その他の各催し物】

川島ゴルフ大会、芋煮会、歩こう会、新春麻雀大会、世交代交流会（賀詞交歓会）



医療法人健心会
えんどうクリニック
院長 遠藤 剛

胃腸科 外科 肛門科
入院施設完備 人間ドック有

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:30	●	●	●	●	●	●
2:00~6:00	●	●		●	●	●

5:00まで

健康相談・健康診断
インターネットで探す私の「かかりつけ医」!!

私のお医者さん
<http://www.endo-go-cl.jp>
健康に役立つ情報いっぱい!

会津若松市一箕町亀賀藤原417-3
(旧富士通ハイパス、三井生命となり)

0242-33-0700

関西同窓会

「故郷・会津／東北を想う」

会長 管家 大幸（高14回）

故郷やどちらを見ても山笑ふ

子規



津（福島県）は東北ではなく関東である」という意見もある。眼が関東（首都圏）に向いていると思われているからであろう。しかし、今ではどこの地域も首都圏を向いている事になりはしない。やはり「会津は東北である」。私は、故郷会津を思う時、単に会津だけではなく東北を意識する。それは多分、私が考える我が国の伝統文化の根源は、一般に考えられているような弥生文化（つまり、稲作農耕文化）ではなく、縄文文化であると考えているからであろう。そして東北は縄文の故郷である。勿論、古代、西日本も縄文の地であった。だが、今日まで縄文の息吹を色濃く残しているのは東北である。弥生文化よりもはるかに長い歴史を有する縄文文化は、弥生人との融合が進む中であたたかも太平洋プレートが列島の近くで大陸プレートの下に潜り込んで行くように、列島人の精神文化の深い処に沈み込んだようである。だが、それは消滅したわけではない。音楽でいう処のバツソ・オステイナートのように、華やかな表の音に隠れるようにしながら静かに繰り返し繰り返し鳴り響いている「執拗低音」、それが今日まで続く我が国の伝統文化と言われるものの奥深く潜む縄文文化です。全てはここから発していると考える訳です。我が国独特の仏教思想といわれる、全てに

仏が宿するという「山川草木悉有仏性」の思想（天台本覚思想）も、生きとし生けるもの全てに神が宿るとする縄文人の思想の土台が無くては成立し得なかったでしょう。或いは又、あの東北大震災発生時の取り乱す事のない整然とした対応などは、縄文人の「共生」の思想、が根源にあればこそと思われれます。そういう東北・会津が故郷であるということをお私に思っております。

地方崩壊が叫ばれるなか、会津の地の復権・活性化もこの文化の上に築かれるべきものと思います。ただ会津だけではなく、東北全体の中に会津を位置づけることで。地元の皆様の豊かな知恵に期待したいと思っています。たとえば、これからは車中心の高速道路だけでなく、自然遊歩道のような自然と共に歩く道の整備が求められてくると思われます。それが観光資源となる時代です。それには東北の地は絶好の地です。「奥の細道」所縁の道、温泉郷を巡る道、東北巡礼の道、峠・山岳を結ぶ道、等々の整備は如何でしょうか。

同時に、若松の街中の整備も必要でしょう。10年〜20年先を見越した独創的な街創りの発想も、東北全体とのネットワークの中で考える事が大事ではないでしょうか。

「活動状況」 幹事長 佐々木 繁（高20回）

(1) 第23回総会

平成27年11月7日、「ホテル プリムローズ大阪」で開催。来賓の方を含め総勢40名、特に、関西で勉学中の学生が多数参加してくれた。

総会に先立ち、鴻巣理様（高4）に「集団インピーダンス／物事の二面性を考える」の題で「会員スピーチ」をしていただいた。物の見方、考え方はインピーダンスのように二面性から考えることが重要で、問題の環境に応じてそのバランスをとるべき、との示唆に富んだ話題であった。

総会は、松本保雄幹事（高15）が司会を担当。管家会

長（高14）の開会挨拶に続き、会務報告、会計報告の後、平成27年度予算案を審議・承認した。

来賓の挨拶では、本部同窓会副会長の戸川稔朗様（高19）からは、震災の風評被害で観光客や修学旅行生が少なくないことや、合唱部の2年続けて日本一になったこと等故郷の様子をご紹介頂いた。会津高校前教諭の千葉宏様からは、社会弁論部が各種ディベート大会で優秀な成績を残したこと等のお話を頂いた。

その後、中学校歌、高校校歌を合唱し総会を終了した。懇親会は、同じホテルで開催。松本忠三郎様（高4）の音頭で乾杯。来賓のスピーチに移り、在京同窓会の佐々木毅副会長・中部地区同窓会の林誠三郎幹事長から各地区の活動内容等の紹介をして頂いた。

しばらく歓談の後、若い学生諸君に卒業のことや今後の抱負などを披露してもらい、会女・葵高校同窓会関西支部の福田弘美支部長のクイズ出題や会女OGのスピーチ、上野副会長（高14）の「会津白虎隊」の詩吟があり、華やかで、賑やかな懇親会となった。

(2) 散策会

当同窓会の特色ある活動として年3回ほど関西の史跡を巡る散策会を実施している。第1回「北野天満宮・千本釈迦堂」第2回「長岡京遺跡めぐり」第3回「二条城とその周辺」。毎回10名近くの会員が参加し史跡めぐりと反省会を実施。

(3) その他の活動

そのほか、「定例懇談会」を年5回実施。各地区同窓会総会や、二条城での糸杉植樹に参加した。また、恒例の黒谷の剣舞奉納に参加し、剣舞会員の激励を行った。



四 地 区 か ら

中部同窓会

「活動状況」

幹事長 林 誠三郎 (高19回)

平成28年度の中部地区同窓会総会は平成6年度から恒例となっておりですが、会津女子高校同窓会との合同総会として平成28年6月11日(土) 16時30分より開催されました。トーエネック(株)の城西荘に総勢20名が集いました。

司会進行役は会高鈴木幸喜さん(高21回)、と会女岩淵さち子さん(高18回)が務めました。総会は、大内哲男会長(高13回)の開会宣言。会員物故者への黙祷。大内会長(高13回)の挨拶。つぎに、林誠三郎幹事長(高19回)より会務活動報告及び会計報告がありました。佐藤信恭監査役(高7回)から監査報告が行われました。これらは、満場一致の拍手を持って承認され総会は滞りなく終了しました。

総会終了後、恒例となった講演会を実施しました。今年には会高側が当番なので、小林秀明副会長(高15回)による「堀川清掃と高年大学」について話して頂きました。講演後には、堀川の歴史や日橋川と堀川の清浄度の違いなど^{かつた}関連な質問などもあり皆さんにとって、非常に有意義な時間となりました。

ここで恒例になりました集合記念写真の撮影。

次に来賓として、4月に校長に着任された山内正之校長(高29回)から母校の進学状況や運動部の活動状況および新しい取り組みなどが紹介されました。管家大幸関西会高同窓会会長(高14回)から関西同窓会の近況や是非今年は甲子園出場を期待する話などありました。



最後に 林健幸副幹事長から会津の現状と、来年は戊辰戦争150年になるので、院内御廟の歴代藩公墓前で会高剣舞会と会女のなぎなた演技を合同で奉納したい思いが述べら

れました。今回の出席者最高齢の遠藤隆男氏(高4回)の乾杯の御発声で親睦会に移りました。酒は本部同窓会長からの差し入れの地酒で一段と盛り上がり、そこかしこで話の輪が出来上がり、故郷会津を^{しの}んで懐かしむことしきり。そして両校の校歌斉唱や会津を思い出している「ふるさと」、小池秀夫元会長のハーモニカ、懇親会会場には、昨年に秋に開催し恒例になった大高緑地公園での芋煮会のアルバムが回覧されて話題になりました。今年は、遠藤隆男氏が在校時に所持されていた「学而手帳」を披露されて皆の関心を獲ました。

中締めは、大東祥順氏(高5回)の万歳三唱で無事に総会と懇親会を終えることができました。

中部支部役員(敬称略)

会長	大内 哲男(高13回)	幹事	星 金次(高19回)
副会長	小林 秀明(高15回)	幹事	鈴木 幸喜(高21回)
幹事長	林 誠三郎(高19回)	監査役	大東 祥順(高5回)
幹事	大島 暁爾(高18回)	監査役	佐藤 信恭(高7回)



大高緑地公園での芋煮会

四 地 区 か ら

北海道同窓会

「会津と北海道の絆」

幹事長 間部 賢司 (高13回)

朝ドラ「マッサン」以後会津と北海道が次々と話題になっていくが、昨年は屯田兵制度発祥の地「琴似屯田兵村開基百四十周年」に当り、様々な催しが企画されており、我々も琴似地区を琴似屯田子孫会事務局長の永峰貴氏にご案内戴き、歴史を踏まえた詳細な説明を受け非常に感動した。更に十一月には、松平保久第十四代当主の講演会・親睦会にも参加出来、琴似子孫会の方々とともに交遊を広められた事は今後に楽しみを持てた。また山鼻屯田兵村を含めて会津藩士が札幌の発展に如何に寄与したかを知り大いに感銘を受けました。開拓当時は学問を学んだ人は少なく、余市町、琴似・山鼻屯田兵村には日新館で学問を学んだ会津藩士が居り、各地で役人や教職に就かれる人が多くあり、道内各地の発展に中心的な役割を担った。恒例の芋煮会を催した折に琴似の子孫会の方をお呼びしたが非常に喜んでおられた。昨年は初参加の方六名と一挙に増え、七年目で人との繋がりが広がってき今後が本当に楽しみです。

今年の北海道同窓会は来賓に新城猪之吉会長と山内正之校長をお迎えし五月二一日(土)に四三名が参加して札幌第一ホテルで開催。総会は昨年度の事業・会計報告、今年度の事業計画・予算案を承認し、玉川利衛氏(高八回)の旭日双光章の叙勲と太田原高昭会長(十回)の日本農業研究所長賞を報告して終了。講演会から会女同窓生が参加された。昨年お世話になった琴似屯田子孫会事務局長の永峰貴氏を迎え「開拓使最初の屯田兵村琴似」会津つぽの独り言」と題して内容の濃い講演をいただき

ました。懇親会は酒井和彦氏(高七回)が会津の酒で乾杯して始まり、来賓の山内正之校長にご挨拶を戴きました。初参加の金川晃氏(高二六回)、青山貴氏(高四五回)伊豆野雄紀氏(高六七回)、大場ヨシ子さん(会女二二回)が紹介され各人から一言ご挨拶を戴きました。いつものように会津から千葉宏先生(高八回)、山口光彦先生(高三〇回)が参加され、各テーブルが盛り上がる中、恒例の校歌・応援歌・学而会歌を全員で声高らかに歌い桑原幸恵さんが再会を期して閉会宣言。そして二次会……へ、若さを十分発揮されたようです。

今年の行事は七月に大通り会場でのビール会、八月に



歴史探訪で初の一泊旅行で道南のせたな町へ(民間人の入植)。間宮正幸氏(高二二回)の紹介で当地若松地区出身の大加代子先生のご案内をいただく。十月に芋煮会、十二月に締め忘年会とまだまだ続きます。

皆様の絶大なるご支援で何とか八年目を迎えることが出来ました。本当にありがとうございます。更に発展するよう力を合わせて参りますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

技術と信頼を提供する



株式会社 金堀重機

代表取締役 宮澤洋一
(高 26 回卒)

〒965-0052 福島県会津若松市町北町大字始字屋敷 31 - 1
Tel 0242-32-3111 Fax 0242-22-4474
田島営業所 福島県南会津郡南会津町田島字北下原 182-1
Tel 0241-62-5778 Fax 0241-62-5779
HP アドレス www.kanehori.jp

感謝の心で

これからも...

あいづしんくみ
会津商工信用組合

理事長 酒井 幸一

会津若松市中央一丁目1番30号
電話 0242-22-6565
<http://www.aizushinkumi.co.jp/>

支部活動

塩川支部総会

27年度の塩川支部総会は10月31日喜多方市塩川町の「粹旬」で行われました。来賓として同窓会本部から戸川稔朗副会長、隣接の湯川支部から白岩孝一副支部長をお迎えし、支部会員36名の出席のもと開催されました。本年は東大法卒の慶徳栄喜君（高25回）の参加もありました。

物故会員への黙祷のあと、曾津中学及び会津高校の校歌を斉唱し、須田敬支部長の挨拶、戸川副会長及び白岩湯川副支部長の来賓祝辞が行われました。

議事においては、26年度事業報告及び決算報告、27年度事業計画及び予算が原案のとおり承認、決定されました。経緯により、湯川支部との交流が新たに計画されました。

次に役員改選が行われ、支部長に須田敬（高12回・再）、副支部長に渡部孝雄

（高21回・再）、野口富士夫（高18回・新）を選出しました。

総会終了後、本年度入学の新入生8名に対して、支部長から祝福と激励を兼ね記念品（図書券）の贈呈が行われ、新入生からは学校生活の状況や今後の抱負などについて発表していただきました。

続いて参加者全員による記念撮影のあと懇親会が盛大に行われました。

幹事長

斎藤正之（高23回）記



南会津支部総会



伝統ある南会津支部平成28年度定期総会を7月15日、本部から副会長竹田政弘氏をお迎えし、会員26名が出席して町内の丸山館で開きました。室井紘一（高11回）支部長のあいさつ後、武田様から母校の近況報告を戴く。後輩諸君が各分野の全国大会等で活躍している様は、本当に頼もしい限りであります。私達が学んだ「好学愛校、文武不岐」の精神が、なお、脈々と継

承されていることは「緋織鎧う若武者魂」そのものです。懇親会には出席者の最

長老であります、渡部恒三先輩（高3）から夢多き青春時代のお話と乾杯のご発声で開宴し、先輩・後輩との親睦交流を深めたところです。さて、懇親会でも話題となったことですが、当支部では近年卒業生の本会への入会が減少傾向にあるということ。卒業生の地域への定着と大いに関係があります。地元就職しても本会への入会には消極的だという現実があります。ふるさと愛、母校愛などは、地域で生活するための基本であると思っております。現代っ子はどいうも！そうではないようです。同窓会組織の強化・拡大を図るためには会員数を増やすことだと思います。本会の更なる発展のためには、ここところをどうするか？ご教示戴ければ幸いです。

副支部長

渡部 雅俊（高14回）記

本間歯科医院

〒965-0035

福島県会津若松市馬場町 2-46

電話 (0242) 22-0922



酸度と日本酒度の絶妙なバランスが、濃醇な中辛口を實現しました。

会津のよさは酒の良さ
花春

花春酒造株式会社
福島県会津若松市神指町中四合小見前24番地の1
TEL: 0242-22-0022 FAX: 0242-37-2100
お酒は20歳になってから、楽しく適量を。

下郷支部総会

平成27年度総会は、11月7日(土)、例年より少ない支部会員13名の出席ではありましたが、同窓会本部から竹田政弘副会長をお迎えし「鯉川」で開催されました。

総会は物故者への黙祷の後、河合政弘下郷支部長の挨拶、竹田政弘副会長よりご祝辞並びに本部活動状況(会員名簿発刊・協賛金の使途・会長杯ゴルフ・囲碁・

将棋大会、次年度総会日程等と母校の近況報告をいただきました。

議事においては、26年度事業報告・決算報告では、本部総会、会長杯ゴルフ・囲碁・将棋大会への参加状況や27年度新入生7名の激励会、事務局の新会員加入と協力体制の強化を図るための事務局会の開催などの報告がありました。

27年度事業計画・予算案が協議されました。事業計画で支部会員の親睦を図るために支部独自の行事を開催することが提案され、原案通り承認されました。

続いて懇親会が行われ、楽しいひとときを過ごすことができました。課題として支部活動への協賛をいただいている多くの会員が支部総会にも参加していただけることを願いながら閉会しました。

事務局長
湯田嘉朗(高22回)記

会津高田支部総会・観桜会

会津高田支部総会は、五月一日(日)、新城猪之吉同窓会長、山内正之校長、会津美里町長渡部英敏氏(高11回)を来賓にお迎えし、二十一名が参加して、「宮廻」で開催された。桜が例年より二週間も早く咲き、観桜会には時遅しの感

は否めないものの、参加者の元気な声が総会を盛り上げた。

物故会員に黙祷を捧げた後、会津中学・高校の校歌を斉唱した。

小林立治支部会長(高19回)が、「卒業して50年、同窓会があるからこそ、夢を持っていた昔の思い出に浸れる。会員相互の親睦を深めたい。」と挨拶した。

新城猪之吉会長が、「永年の夢であった同窓会名簿を作成できた。校歌を大きな声でしっかり歌えるのは元気な証拠である。高田支部の皆さんはまだ大丈夫です。」と挨拶した。



を支える会津高校の卒業生は、弓田秀樹副町長(高25回)、佐治和則教育長(高19回)はもちろん、管理職の半数以上の八名である。同じ門をくぐった者として、今後とも皆さんの町政への協力をお願いしたい。」と挨拶した。

続いて、山内校長からは、「合唱は二年連続全国一位になった。」などと母校の現状について話された。その後の観桜会では、母校や町政の状況、それぞれの高校時代の思い出話、健康のことなどで大いに話に花が咲いた。

幹事長五十嵐栄(高27回)記

あたたかい心とたしかな医療 新病院「総合医療センター」



地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院
一般財団法人 竹田健康財団
会津若松市山鹿町3番27号 ☎(0242) 27-5511(代) <http://www.takeda.or.jp>



酒造見学
無料

末廣酒造「嘉永蔵」

- ・会津物産品売店
- ・売店・無料試飲コーナー



■営業時間 9:00～17:00 ■見学無料 ■年中無休 (12/31・1/1のみ休み)

併設

仕込み水で煎れた珈琲が自慢です。

世界の名機を展示

蔵喫茶 吉 kyou

- 営業時間 10:00～18:00
- 水曜定休

クラシックカメラ博物館

- 営業時間 9:00～17:00
- 年中無休

会津若松市日新町 12-38 Tel.0242-27-0002
URL: <http://www.sake-suehiro.jp/>



猪苗代支部総会

27年度の支部総会は例年通り11月23日勤労感謝の日に開かれた。今年は月輪地区が当番で、会場は志田浜のレークサイド磐光であった。会員約190名のうち32名の出席があり、来賓として、新城会長、会津高校猪苗代町保護者会から小鮎会長をお迎えした。

講演会は、野口英世の恩師小林栄先生についての話であった。講師は「猪苗代の偉人を考える会」副会長小檜山六郎氏であった。「小林栄先生は猪苗代に生まれ福島師範学校を主席で卒業し県都の福島で教職に就くよう勧められたが、地域の為という思いが強く地元猪苗代の尋常小学校で教鞭をとった。明治22年に

三ツ和小学校（現在の翁島小）で野口少年と出会い、高等小学校への進学を勧め、英世の生涯の恩師となられた。

栄先生は三十五年勤めた公立学校教員を辞職し、『私立猪苗代日新館』を創設し、地域の子弟教育に生涯を捧げられた。

講演を聴いて改めて郷土が生んだ偉大な教育者について認識を深めた次第である。

支部長
長尾 景星

（高15回）記

河東支部総会

河東支部平成28年度総会は、7月22日広田駅前「おおたや」に於いて同窓会本部より、林健幸副幹事長をお迎えし、開催されました。初めに物故者への黙祷を行い、校歌の斉唱をしました。続いて支部長の挨拶があり、恒例の事業となつて

いる新そば会や河東中学校からの合格者への記念品贈呈が8名の卒業生にあつたことが報告されました。また課題としては、高40回までの卒業生が会員になつて

いるが、以後の入会者がいないことから、今回発行された同窓会会員名簿を活用し、支部会員の充実を図ることが挙げられました。

林副幹事長からは会員名簿の協賛金等が多くあり、大人数で参加する合唱コンクール



の記念品贈呈が提案され、満場のご賛同を得ました。総会終了後は懇親会に移り、東海林信一郎顧問の発声で乾杯をし、近況などを報告し合い、散会しました。

支部長
笠井 武彦

（高17回）記



私たちは新鮮でおいしい商品をお届けし、お客様がより安心して、楽しくお買物ができるお店づくりを目指してまいります。

Lion D'or

CREATE THE FUTURE

リオン・ドール

株式会社 リオン・ドール コーポレーション

リオン・ドール本社 会津若松市中町4-36
TEL 0242-26-2111

人と人のまんなかにエイセン
日本名水百選
磐梯の名水仕込

東北に酒あり



エイセン 榮川酒造株式会社

耶麻郡磐梯町大字更科字中曽根平6841-11
☎0242 (73) 2300 FAX0242 (73) 2586

<http://www.eisen.jp>

お酒は20歳になってから。 お酒はおいしく適量を。

中45回

「誇りと自惚れ」

佐原 次郎 記

誇り、と自惚れは違うと思うのだが。哲学も倫理学も少々は習ったはずなのに、さつぱりだ。中学時代は「赤棒」なども戴いた私には、さつぱりと恥さらし。しかし「95才（大正10年元旦生れ）」ともなれば本稿のようなことを書かざるを得ないのも当然か。」と言われぬようにしながら書きだした。

さて、私の会津中学三年生の時、担任の田丸先生（英語）から弁論大会に英語の暗誦をやるよう既に決めてあるからとのこと。目前真つ暗、夢中の状態で終った。

“There is no police force in the world than the police of London”の一文はこの歳になっても忘れられませんが。私にとつてはほんのうらな出来事でした。五年生になった昭和14年2月24日卒業直前父が亡くなつ

中51回

「戦中の青春」

五十嵐 博 記

た。担任の比留間先生は特に心配して下さり、全寮制衣類食費まで全く金のかからぬ東京府大泉師範学校（現学芸大学）を薦めて下さった。願書もやつと間に合つて、石垣島出身の同級生と共に、麦踏みや肥やし汲みまでさせられた。校長は木下順庵のひ孫に当る木下一雄先生（東京都教育委員長、初代学芸大学長）。

駒沢大学沢木興道老師を招いての禅の教育も受けた。夕食も共にされ、「今晚も座るぞ」と警策をもつて寮各室全開のご指導を受けた。

私は都内随一の環境（新宿御苑、外苑、慶応病院）に囲まれた四谷第六国民学校に在職のまま、兵籍功績の仕事もさせられた。部隊長（大佐）の口頭命令で湖南の地で中国児童小学校の教壇にも立たされた。酒殆ど駄目、煙草全く口にせず。入歯なし。さらけ出した私の誇り……うぬ惚れか。会報発刊される頃はこの世に居ないかもと気にし乍ら……。

七十数年前の昭和十八年、会津中学校四年生の初夏、当時の流行病ともいえる盲腸炎で竹田病院に入院し手術を受けた。手遅れに近い状態で縫合もされず、私自身の持つ回復力に期待しているかのようであった。退院後も看護婦が人力車で来てくれた。手当のために近寄ってくる彼女から、乙女らしい甘い香りが漂った。手当を終えて果物などを食べながら蓄音機から流れてくる歌謡曲に、耳をかたむけている彼女と二人きりで過ごす時間は、スッポリと戦争を忘れさせた。

秋晴れの九月、久しぶりに登校して学校の雰囲気、ガラッと変っていることにとまどった。二ヶ月前の七月下旬、ガダルカナル島で戦死された、地元誇りの第二十九連隊の二千柱を超える英霊を迎え、その中に数多の身近な方々がおら

中52・53回

「米寿を迎える」

浦野 一郎 記

れたことなどが、復仇の激情となったのだろう。学業を捨て戦場にかけていたいと、軍関係への入隊希望者が続出している雰囲気の中で、病後の小生は荒れ狂う嵐の中をサマヨツテいる子羊のようなものであった。異性に想いを寄せることなど、会中生らしからぬ破廉恥な行為として、同級生からの鉄拳制裁もあり得た。

平成28年四月十二日、年齢相応の顔を揃えて「五三会」当年度の発会を萬花楼に於て迎えることが出来た。写真は上段右から、赤城良一・岩本綾平・柴田良雄・飯田耕治・浦野一郎・下段右から、小林栄二郎・桑間恒雄・遠藤孝・岩橋猛・渡部欣一の諸氏。

本年も十二日には何をさて置いても集るようになっている。話題は近況報告に始まり情報交換等森羅万象、上は宇宙旅行の可否から下は熊本地震の断層帯に至るま



で耳目に触れるもの全てである。まだまだ頭の衰えはない模様である。当今、戦後七十年とよく言うが、我々の来し方を考えるとそれぞれに重さは違うのである。近頃はどうも懐旧談に流れ勝ちで世間並みに「八十八歳の節目の年になるなあ。皆に会うのもいいなあ。」の声も出た。東京・関西・福島・仙台等の住人に打診すると「いいね、いいね」の賛意もあり、「これが最後の五三会全体会になるのか。」と思いつつ、十月十二日「秋秀麗の野を踏み」米寿の集いをすることに決めた。

今は集え来たる諸君に喜んでもらえる趣向を考え中なので、皆体調を整えて元気な顔を見せてもらいたいものだ。そしてこれを再スタートとし、母校の創立百三十周年記念・次回の東京オリンピックを見据え、今後どう生き抜くかの決意にしたいものである。

中55回・高2回

「最後の甲申会」

真壁 正 記

平成28年4月17日（日）。「ルネッサンス中の島」で16名の参加で開催された。会中に入会した昭和19年

は甲申の年であり卒業後「甲申会」と命名し、毎年4月に総会を開き、会員相互の親睦と扶助・健康を願ひ、事業活動を展開してきた。

しかし、会員の高齢化と減少により、誠に残念ではあるが、今年の総会で解散の集いになることとなり、名残りつきない思い出などを語り合い、杯を傾け懇親を深めた。

解散後は、会長代行の真壁正が窓口となり連絡を取り合う。

高4回

「同期会開催」

五十嵐 明 記

7月24日東山「千代滝」にて高校四回卒の同期会を開催いたしました。

前回までは中2年で、集まっておりましたが80歳も過ぎると何時お迎えが来てもいい適齢期。「中を1年詰める、」との意見あり、拍手喝采！斯くして、一昨年に次いで今年の開催となりました。老軀の幹事としましてはへたへたですが、これも嬉しい悲鳴です。し



かし残念ながら出席者は毎回減っております。「物故者の分まで大いに語り、飲み明かそう」と、力強い？発声で意気が上がり、床入りの時間を覚えていない一夜でした。

高6回

「在京六甲会懇親会」

笠間 亮 記

平成28年の在京六甲会恒例の懇親会は、5月10日（火）、銀座三笠会館本店の2Fフランス料理「榛名」において26名の会員が出席して開催されました。物故者の霊に黙祷。昨年5月の懇親会以降、鬼籍に入られたのは、故古川雅弘君、故高橋誠君、故星敬君、故山口博続君、故長沼源治君、故皆川武君の6名。これで鬼籍に入られた方は、合計99名となります。講演は井関利明君による『多様化する成熟社会と高齢者の役割』で「80才代のわれわれは人類史のなかで先例のない時代を生きています。だからこそ、改めて『新しい



生き方』を創りだしていかなければなりません」と熱弁を振るいました。懇親会になり、乾杯の発声は、渡部幸世君。真部健雄君、平田寛君、平田和子君、福地裕君のショートスピーチと、お馴染み岸喜志雄君のハーモニカ演奏、そして渡部幸世君の指揮による「ふ

るさと」の合唱。岩上巨雄君から神戸ワインの提供があったことも紹介されました。いつしか60数年前の門田の懐かしい校舎にいる頃の気分になって濃密な時間を共有した後、名残を惜しみつつ、再会を期して、一本締めにてお開きとなりました。

高7回

「七朋会総会」 「傘寿祝賀会」

渡部 文夫 記



平成二十七年十月十日、「総会」と「傘寿祝賀会」を開催した。参加者は二十五名だった。当日は諏訪神社に参集し、本殿で祈禱を受けた後に参加者一人ずつ玉ぐし奉奠をし、恙無く八十歳を迎えることができたことを感謝した。その後場所を割烹萬花楼に移し、総会と盛大な祝賀の宴を催した。

高8回

「傘寿の会開催」

千葉 宏 記

我等高八回生は、今年が「傘寿」の祝年に当ることです、去る6月26日・東山御宿東鳳にて同期会を開催。出席者35名（福岡など遠来者16名を含む）

吉田（尚）君が幹事代表で『傘寿80才にして、まだまだお役に立ちましょう』と長寿の慶賀と健康を祈る挨拶をし、平山君が祝詞「高砂」を披露、古川（洋）君の叙勲を祝福の後、最遠来者土田君の乾杯発声で宴となった。



ほどなく、紅一点堀津さんのスピーチや芸妓さん2人の祝舞等で宴は盛況となり、もはや80才集団とは思えない元気良さであった。更に2次会ではカラオケに熱中する等、思い出深い一夜となり、再会を期して握手を交わした。皆さんありがとうございました！！

高10回

『学而継』(第三刊) 発行について

有馬頼太郎 記

高校一〇回有志
平成二十二年の七月に第一刊「在校時代の思い出」、十二月に第二刊の発刊に続いて昨年の十二月に「我が人生」のテーマで第三刊を発行した。

平成二十一年、鬼怒川温泉の同期会で渡辺毅君から「十回生の高校時代の思い出を編集したい」との栗村道彦先生からの伝言」があった。これに対して兼子八郎君をはじめとする同意者たちが努力して第一刊を発刊した。



それから五年した東山温泉「有馬屋」での寿会の新年会で、寄る年波を感じるこの頃についての話となり、卒業から現在までの記録をまとめようとの話題になった。これまた、兼子八郎君に纏めてもらうことになって第三刊「我が人生」の発刊できた。兼子君に感謝感である。発刊を記念して「学而継刊行記念継の会」を平成二十八年五月三十一日に江東区の「清澄庭園」で開催した。その席上で刊行に寄せられた編集費用の余剰金を九月十一日の同窓会総会において「時習文庫」に寄贈することを決めた。

高12回

「卒業五十五周年 祝賀会」

武藤 信行 記

平成27年10月6日 大川荘
出席会員43名 恩師3名
昭和35年卒業55年の節目に、クラス担任で健在の三恩師のご光来を得て記念の「三五会」を催した。祝宴の前に恩師との懇談の席を設け、高校時代の思い出や55年を語り合った。畑敬之助先生は会高百年史編纂や会津史談会の重鎮として活躍のこと、手代木健先生は永年詠まれた短歌集を出版されたこと、三瓶昌徳先生は趣味で俳句を嗜まれていること等のお話をいただいた。会員からは、世紀の金字塔昭和34年春の選抜野球甲子園出場（我が剛腕黒岩正明君を擁して）、映画「山の彼方に」のロケ協力、中田浜のボート大会、学而祭等の思い出や55年を振り返り話に花が咲いた。祝賀懇親の席に移り、湯野尻強君作成の要項に従



い、鈴木和彦君の開会、斎藤健会長より歓迎の挨拶があり、続いて舞囃子「羽衣」を折笠成美君が披露し祝宴に入った。乾杯後会場中央に用意した会津銘酒30種を互いに酌み交わしながら懇親を深めた。恩師への記念品贈呈があり、畑先生作詞の第二応援歌を伊藤洋君の指揮で高らかに唱和し、在京代表の伊藤俊郎君が万歳三唱で締めた。

高13回

「三六会茶会を開催」

中村 洋一 記

翌朝三瓶先生より早速二句を頂戴し皆に披露して観光となる。在京下郷会副幹事長の高橋千代丸君の案内で塔のへつり、大内宿を巡り会津の秋を楽しんだ。
今回は会津無尽会の最大のおもてなしにより充実した三五会となった。
終りにこの五月に急逝された「手代木健先生」のご冥福を心よりお祈りし、報告とします。

平成28年8月15日(月)
三六会恒例の集いが開かれ、全国各地から45名の参加があった。昼はゴルフ大会、夜は萬花楼にて懇親会が盛大に開催された。

吉川直佑代表幹事の「生と死についての考え方を準備しておくべき事」の講話を拝聴後、高橋庄作君差入れの「会津娘」、川井功喜君からの枝豆等をいただきながら再会を喜び合った。今回新しい企画として



碧水庵宗文(中村文夫君)

「三六会茶会」を開催した。薄茶席、葉蓋点前で亭主は石州流茶道宗家元教授、碧水庵宗文(中村文夫君)でした。我々同級生30名が客となり、席に着いた。「人倫日用の常道、行住座臥起居道静かにつきて道理にかなう所、即ち茶の湯の道なり」の心得のもと一服を味わった。坂内正嗣君と室井勲君がサポート役として二カ月にわたって特訓を受けた。そのために見事なお点前を披露したことは勿論である。

高14回

「最近の十四回生の足跡」

五十嵐靖弘 記

早いもので、卒業して五十四年が経過しました。その後、「還暦の集い」、「古希の祝い」を東山温泉で毎回約七十名程の参加で開催され、次回は、「喜寿の祝い」で集まる約束をしました。

務局長と会津育英会事務局長に森武久君、会高関西同窓会長に管家大幸君、同副会長に上野信君と桑原勇臣君が関西同窓会を盛り立てているとの事。また二年前の同窓会の講師で、「会津の船乗」の題で好評を博した平山誠一君が今年は関西同窓会で講師を勤める予定だそうです。

我ら十四回生は、会津では、毎月二十五日を例会日と定め集まっています。また在京同期会は、平成二十七年十一月二十一日東京ガス「青山倶楽部」で、二十四名の出席で開催されました。毎年「箱根での囲碁と湯治の会」を催したり、活発な活動しております。以上私の細い記憶の線を辿りながら、ご報告申し上げます。

高16回

「同期会総会」

川崎 浩通 記

現在も各方面で活躍されている方は、全会津ソフトボール協会会長に原康之君、全会津弓道連盟会長に柳橋幸生君、山川次郎顕彰会事

平成28年6月18日(土) 於ルネッサンス中の島 多忙中にもかかわらず、



参加者30名近くの皆さんの出席を頂き、盛大な会と成りました。案内状の通知者174名、物故者32名、所在不明者が90名おります。情報が有りましたら、お知らせ願います。

物故会員への黙祷に始まり、秋山節雄君指揮による校歌斉唱、代表幹事山野皓正君の挨拶につき、議事に入り、代表幹事の議長のもと、事業・会計・監査報告があり、了承されました。卒業後50年以上が経過

尚ブログを公開しておりますので、ご覧下さい。会高一六会ブログ<https://app.f.cocolog-nifty.com/t/app> アカウント aiduhs16kai パスワード 196416

高17回

「古希を祝うデネッチャアツカ同窓会」

米田 基修 記

しており、大月君より、顔と名前が一致しないので自己紹介してほしいとの発言があり、順次自己紹介に入り、皆さん、顔と名前が一致したようでした。

記念写真の撮影の後、懇親会に入り、皆さんの、益々のご活躍、元気な近況報告(健康談義・お孫さんの話等)があり、二次会、三次会へ、…話は尽きず、再開を約して散会しました。

た。複雑な思いで焼け跡に佇んだ。仮校舎は鶴ヶ城の三の丸にあった元競輪場のバラックの建物。授業中、新潟地震が発生してぐらぐらと揺れた。そんな波乱の時代を潜りぬけた私達だけに、同級生の結びつきは水を含んだ紐で縛ったように堅いものだった。弊衣破帽を得意げに、バンカラを気取って闊歩していた青春の真ただ中に、会津女子高十七回生がマドンナのよう

高18回

「汽車通・SLでの只見線」

内田 博一 記

先日、或る新聞に東日本JRのローカル線人気投票で只見線が第一位に選ばれたとの記事を見て、昭和三八年頃の車窓の様子を振り返ってみた。私が入学した年は、三八の大豪雪の時、四月の入学式の時に、四月の入学式の時に、校門に残雪があった事をおぼえています。そして汽車通が始まり、朝五時半頃の一歩列車、帰りは午後九時半頃の最終列車の一日でした。四季の変化を、車窓から会津盆地の美田を見ながらの通学でした。短い三年間でしたが、意外と大変な時代でした。先ず一年の時、校舎が焼失してしまい、三年生は競輪場の建物を改修した所で勉強し、一・二年生は残った校舎で学ん

私達は多くのやつかみと妬みと羨望を浴びながら、会津女子高十七回生と合同で還暦を祝う「コネッチャアツカ」を開催した。あれから十年が経ち、中国の詩人杜甫が詠う「人生七十古来稀なり」の年齢になった。卒業してから半世紀を越えた。

思い起こせば、在学二年生の昭和三八年十二月三日、母校が焼失した。期末試験が始まる前日だった。

福を祈ることが、あるいは残されて今を生きる私達の責務であり、この集いの目的だったのかもしれない。

だのです。次は新潟地震があつて校舎が被害にあつたり、只見線も長期間不通となつたり、台風シーズンには、西若松、本郷間の鉄橋が冠水し、不通になり、冬は大雪で除雪がいつかず不通、こんな只見線でも汽車通の楽しみがあつたのです。それは様々な中学を出た同じ年代の多くの人々との出会いがあつた事です。又、我々男子校の憧れであつた女子校とも会話がもてたという、古き良き青春の時でした。今只見線は水害により完全復旧しておりません。同じ時を只見線で通学した諸兄、復旧する為のエールを是非発信して下さい。

高28回

「会高・会女 合同同期会」

安部井省治 記

高校28回卒は、毎月28日近辺に同級生の皆川務君（謹教小、三中出身）の店「花の園」（竹田病院北側）にて無尽を行っております。



会費5千円。参加される方は学年連絡幹事の安部井まで連絡願います。（090・3324・9575）参加お待ちしております。

二八会という会も同時に運営してまして、有事の際は会費から参加費を拠出してあります。会員登録は約30名ほどで、会津若松市内在住者は年会費1万円。その他の者は6千円の会費にて運営しております。

また、有志による旅行も実施しており、毎月積立をして、年に一度の旅行を行っております。来年は還暦の年にもなるので、伊勢神宮

参りを計画しております。

5年に一度会津女子高校の28回卒と合同で同期会と命名して、今までに2回（50才55才時に開催）実施しており、次回は再来年に開催する予定です。平成30年の5月頃には封書による案内を送る予定です。期待してお待ちください。

高43回・44回・45回

「われら学而百年会」

入谷 康之 記

わが会津高校が創立百周年を迎えた平成2年、私は2年生として在学しておりました。それから16年の年



月が流れ、私も社会人として会津の家業に精を出していましたが、そのとき仕事で縁で1つ先輩と1つ後輩との3人で飲み会を設けることになりました。その夜、在学中の赤裸々な思い出話に花を咲かせつつ、これを機に百周年時に在学していた3学年で新たに「学而百年会」（以後、百年会）と銘打った親睦会をつくってみようという話になりました。

それから不定期ながらも1人ずつ声をかけ集めながら地道に開催し続け、30年以上の仲間と旧交を温めることができました。この百年会を通じて、懐かしい同窓生との再会や新たな出会い、また互いの活躍ぶりを称え合ったりと、社会人になっても伝統ある会津高校同窓の深い絆や縁を感じております。

百年会は毎月開催されており、主旨は親睦と交流ですが、趣味を通じた活動をしたり、親睦旅行を催行したり、また過去には会津若松市へ寄贈もさせていただきました。

百年会は今年で10周年を迎えることができました。わが母校の百周年がもたらした縁で「学而百年会」が誕生し、さらに広がってゆくこの縁に不思議な力を感じております。これからも活動を続けて同窓の輪を広げて参りたいと胸を高鳴らせております。高43、44回、45回のみなさんご参加ぜひお待ちしております！

高53回

「会中の先輩」

岩沢 伝朗 記

高校の入学祝いに「先生」と慕う会津中学46回卒の先輩から「ある明治人の記録 会津人柴五郎の遺書（中公新書／石光真人編著）」を頂戴した。先生とは小学6年の青少年赤十字の合宿で初めておめにかかつて以来のお付き合いである。

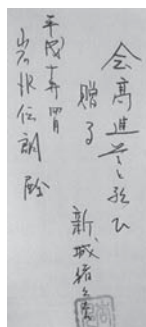
折々にお手製の絵葉書を下さり、留学先の宿舍へ届いた手紙には何度も心救われた。就職活動の折、最終面接で面接官から「柴五郎を知っているか」と質問を

受けた。戊辰戦争後、斗南で苦労され、会津人で初めての陸軍大將になった柴翁について話したところ、明治維新後の会津のおかれた立場などに話が及び、「さすが会津人、よく古里を勉強している」とお褒めの言葉を送った。後にこの方は薩摩のご出身だと知った。

先生のお宅へ内定報告に伺い、このエピソードを披露した時のあの笑顔は忘れられない。会津高校入学から8年後、ご縁が繋がりました。航空会社で社会人生活をスタートさせた。先生から頂いた本からうまれた本当にありがたいご縁だと思っている。

「先生」こと、新城同窓会長のお父上であられる、先代の新城猪之吉（富二郎）氏は残念ながら私が入社する前に急逝された。

ご恩返しは何一つ出来ておらず、ただ邁進する毎日である。合掌



同窓会「会長杯」

第8回ゴルフ大会
第7回囲碁大会
第5回将棋大会

恒例のこの大会は今年度も5月5日（木）に開催された。ゴルフは「会津磐梯カントリークラブ」で、囲碁・将棋は「ルネッサンス中之島」で行われた。気温は20度位で、快晴に恵まれ、絶好の日和であった。大会の実行委員は勿論、同窓会役員の方々も3月から準備し、参加者を募り、各企業にお願いして豪華な景品を提供していただき、当日を迎えた。



ゴルフ大会

ゴルフ大会は、例年どおり、五月五日に同窓生一六四名という過去最多の参加を得て、盛大に開催され、賞品も、七十二社から協賛を受け、全員に渡すよう用意できました。

当日は、思い切りプレーを楽しみ、旧交を温めることができました。表彰式は、ラジオ福島の山地美砂子アナウンサーに、司会進行をお願いしたので更に、盛り上がりしました。中島君指揮の校歌、凱旋歌、永田先輩の乾杯の拍手、渡邊先輩の花火型一本締めで、同窓生は、より強く絆を結ぶことができました。熊本地震チャリティも行うことができ、有意義な大会になりました。ゴルフ大会を立案された山口前会長、協賛していただいた各事業所、運営協力していただいた磐梯カントリークラブの皆様、指導していただいた同窓会幹部の皆様に、感謝申し上げます。

主な成績は次の通りである。

小田切 秀 夫（高25回）記

ゴルフ成績表

団体戦

優勝 高24回（新井田務・山田裕・穴澤耕二）
準優勝 高13回（安部哲夫・永田幸芳・佐藤洋一）
3位 高22回（秋山太一・遠藤元宏・寺川俊治）
4位 高28回（古川賢一・中村達也・渡部武彦）
5位 高27回（太田幸雄・猪俣孝之・滝沢博士）

個人戦

			OUT	IN
優勝	新井田 務	(高24回)	44	51
準優勝	満 田 盛 護	(高30回)	38	38
3位	安 部 哲 夫	(高13回)	35	39
4位	山 田 裕	(高24回)	49	48
5位	太 田 幸 雄	(高27回)	44	41



ゴルフ表彰式・懇親会風景

「会長杯での役員とスケジュール」

1 役員

。 ゴルフ大会

実行委員長 小田切秀夫（高25回）

競技委員長 安部 哲夫（高13回）

。 囲碁大会

実行委員長 皆川 義男（高19回）

大会審判長 皆川 義男（高19回）

。 将棋大会

実行委員長 佐藤 中一（高2回）

事務局長 長谷川 克（高24回）

2 主なスケジュール

月 日	内 容
3月1日（火）	大会開催案内状（学年幹事・支部へ） 協賛品依頼書の発送作業
3月下旬	参加者へ案内状発送
4月2日（土） 14：00～ ルネッサンス中の島	ゴルフ・囲碁・将棋合同打合せ （各実行委員及び担当役員） ①各大会の進捗状況 ②表彰式・懇親会の開催方法 ③協賛品依頼企業への呼びかけ
4月20日（水）	参加申し込み締め切り
4月27日（水）	協賛品締切
4月29日（金）	賞品割振り・順位付け作業
5月4日（水）	賞品陳列作業（表彰式会場）
5月5日（木）	「会長杯」開催



囲碁大会

今年度は、「高19回」の皆川義男実行委員長を始めとして、川島道雄、古宮正雄、福西宣孝の4氏が中心となって運営された。囲碁将棋合同の開会式後、それぞれのルールに従って試合開始となった。

試合はAクラス（四段以上）とBクラス（三段以下）に分かれ、ハンデ戦で行われた。30分の持ち時間で5人との対戦をしたが、日頃時計の使用などしていないために、押し忘れも続出した。だが、早碁が多く、時間の心配はなかったようだ。千葉宏（高8回）事務局長の厳正な点数計算で全員の成績も発表された。いつもながら、日本棋院会津支部からは基盤セットを、各企業からは豪華景品で大会を盛り上げていた。懇親会では新会長長の挨拶、授与となり、賑やかで、楽しい一夜となった。

主な成績は下記通りである。

佐藤 紘一
（高13回）記



囲碁大会風景

囲碁成績表

Aグループ（4段以上）（10人）

優勝	皆川義男（高19回）
準優勝	斎藤正之（高23回）
3位	長谷川恒雄（高4回）
4位	千葉大（高16回）
5位	田部市蔵（高7回）

Bグループ（3段以下）（9人）

優勝	佐藤 紘一（高13回）
準優勝	鈴木良助（高13回）
3位	大竹 誠（高13回）
4位	真壁 正（高2回）
5位	平出達朗（高3回）



囲碁・将棋参加者



会津武家屋敷年間パスポート

一年間何回でも入館できるお得なパスポート。一枚1,000円にて発売中。

会津武家屋敷菊まつり

家老屋敷を可憐な菊が彩ります。平成28年10月10日（月）～11月23日（水）

特別展『会津城下 人々の暮らし～新会津風土記～』開催中

会津武家屋敷

〒965-0813 福島県会津若松市東山温泉入口
TEL 0242-28-2525（代）FAX 0242-28-2515
URL <http://www.bukeyashiki.com>

宴会・会合・無尽

ユネスコ無形文化遺産 **和食**

割烹
萬里

〒965-0825

会津若松市栄町4-37（清水通り）

●営業時間

17:00～23:00

●定休日

日曜日

（不定休）

TEL(0242)22-8502 FAX(0242)27-5790



将棋大会風景

将棋大会



今回はAクラスとBクラスの参加者数に偏りがみられたため、同じクラスは平手戦、違うクラスは角落戦を実施して、表彰だけは従来通りA・Bクラス別に行う方式を執った。

大会を通じて、うれしい事が二つあった。

一つ目は、三ツ星恵介氏(高30回)、山口公康氏(高62回)というフレッシュな顔触れが加わり、参加者のすその広がったこと。両君はそれぞれ、千葉大と新潟大で研鑽を積まれた。大学将棋の強者である。Aクラスはその山口公康君が、六戦全勝で初出場初優勝を飾った。

二つ目は、Bクラスの優勝者に、高24回卒の鈴木義男君が輝いたこと。彼は第一回

大会から連続出場で、その上受付の雑用もこなして呉れるナイスガイである。四人の同期生が毎日曜日三年間続けてきた将棋定例会での修養が結実した結果だと密かに喜んでいる。

『同窓会会長杯将棋大会』に光栄あれ!!

長谷川 克まさる
(高24回) 記

平成 28 年「会長杯」ゴルフ・囲碁・将棋大会

熊本地震チャリティ募金

ゴルフ	OUT	NO3	40,500 円
	I N	NO15	27,000 円
囲碁・将棋			27,270 円
会計より			5,230 円
合 計			100,000 円

民報教育福祉事業団に
熊本大震災義援金として寄託する。

将棋成績表

Aクラス

優 勝	山口 公康 (高 62 回)
準優勝	三星 恵介 (高 30 回)
3 位	長谷川 克 (高 24 回)
4 位	大森 茂光 (高 18 回)
5 位	佐藤 中一 (高 2 回)

Bクラス

優 勝	船木 義男 (高 24 回)
準優勝	神山 広志 (高 20 回)
3 位	白井 章夫 (高 28 回)



囲碁実行委員・高 19 回の皆さん



ゴルフ賞品の山

平成 28 年会高同窓会「会長杯」協賛企業様一覧 ご協力に感謝申し上げます。

会津天宝醸造(株)
株会津磐梯カントリークラブ
会津ヤクルト販売(株)
名畔越商店
会津交通株式会社
会津商工信用組合
會津通運(株)
(有)あいづ松川
株会津コンタクト
会津酒造(株)
会津村
株会津技研
株会津ガラス
会津デザイン工房
(有)稲忠
入谷建設工業(株)
いしかわ歯科医院
稲川酒造店
株エナジー
栄川酒造(株)
株大橋商店
大関家具店
株小沼漆器店
河内屋グループ
スナック果林

きつ法律事務所
株式会社 顕幸
株幸楽苑
(有)後藤商会
さくらクラブ
株斉藤カメラ店
佐藤建築設計事務所
株サロンドニット
白井酒造
ジュエリーオオスカ
末廣酒造(株)
鈴善漆器店
株関美工堂
ゼビオ(株)
セブンイレブン会津西七日町店
セブンイレブン会津高瀬店
ソースカツ丼の店 なかじま
(名)高砂屋商店
(合)辰泉酒造
一般財団法人 竹田健康財団
ダイハツ福島(株)
鶴乃江酒造(株)
株塚原金物
株東邦銀行
名倉山酒造(株)

株二丸屋山口商店
ネットトヨタ郡山(株)
ネットトヨタノヴェルふくしま(株)
花春酒造(株)
株ヒデオ
株福西惣兵衛商店
林合名会社
坂下清掃(有)
熱塩温泉 ホテルふじや
株不動産信託リサーチ
丸果会津青果(株)
(医)前田眼科医院
丸善商事(株)
株守電気店
(有)米夢の郷
(有)毎商会津
(有)峰の雪酒造場
メンテナンス会津(株)
山本商事(株)
八二醸造(有)
ハツ橋設備(株)
(有)吉田工業所
株リオンドールコーポレーション
(敬称略・順不同)

ジョギング・ウォーキング・トレッキング——今日の頃

中部地区同窓会 会長

大内 哲 男 (高13回)

【前書き】 高齢者の仲間入りをして既に3年、ほとんどの仕事から手を引きもつぱら夫婦二人の生活に明け暮れるこの頃ですが、健康維持のため毎日の、ジョギング・ウォーキング・トレッキングにあたって、心を癒される出来事について記してみる。

【小牧・長久手の戦い】 私の住んでいる処は、最近の新聞報道では日本で2番目に住みやすい町として報道された長久手市である。当市は秀吉・家康の「小牧・長久手の戦い」の古戦場であつたところである。「本能寺の変」の後、信長の後継者争いで秀吉と家康が戦つたと言われているが、家康が後押しした織田信雄が秀吉の講和を受け入れたため、戦いの大義名分がなくなり家康は力を誇示しつつ秀吉の天下統一に従うことになる。「小牧・長久手の戦い」はこのきっかけになつた戦いであつた。会津中学校校歌に、葦名、蒲生の昔より・・・と謳われた蒲生氏郷が、秀吉の天下統一の事業に「功あり（伊勢 戸木城 攻略）」とされ奥州の伊達正宗の抑えとして会津91万石をいただき、移封されたのもこの頃であつた。従つて長久手市内には古戦場にまつわる地名がゴロゴロ。古戦場交差点、血の池公園、首塚、香桶、香流川、勝入塚、武蔵塚などが残されている。香流川は「愛・地球博」が開かれた、東部丘陵地を水源として東から西へ流れ、名古屋市の庄内川へ流下する川で、鉢山の選鉱のための川、金流川がなまつたものとの言い伝えがあるが、私には弔いの線香の香桶、弔い線香の香が流れる川と読

めるような気もする。

【ジョギング・トレッキング】 さて私の「ジョギング・トレッキング」は毎朝のことで、4 kmのジョギング、雨の日はトレッキング向け階段上りをここ30年近く休みなく続けているが、会社勤めを終わつてからは、時間が十分あるため「ジョギング」を5 km〜8 kmと伸ばして来た。元はと言えば趣味の冬スキーで怪我でもして「年甲斐もなく・・・」と言われない為のトレーニングのつもりで始めたものが、まるで病氣のように、やめることができなくなつていたのである。

【ウォーキング】 ウォーキングは昨年9月より奥方が香流川「遊歩道」を夕方歩き始めたというので、暗くなつてからの「ウォーキング」は不用心であろうと、付き合いで4 km程度一緒に歩いている。そのコースが香流川沿いの「遊歩道」なのである。「遊歩道」は香流川の洪水処理用の遊水堤防で、川のすぐ近くを通る。正式の遊歩道は水がつかない高いところにあり、よく整備されていて、春の桜は特に美しい。しかし「遊歩道」は走る人と歩く人しか通らないので、川の生物との出会いが楽しみである。体長50〜70 cmにも及ぶ鯉が、数十匹棲んでいる深みがあり、最初は魅^まを用意していったが全然食いつかず、試行錯誤の結果パン屑が好きと分かり毎朝あげている。そのうちこの付近には鴨も住んでいて、鯉のいる深みに鴨がおこぼれを待ち受ける様な事もありました。鴨は春先どこかへ行き、暫くいなくなつたが、5〜6月になると子連れで現れてきた。1羽連れ、3羽連れ、5羽連れ、子供に恵まれなかつたペアの成鳥も数組。今一番かわいなのは5羽のチビさんを連れた母鴨の組み合わせ。パン屑に飛びつくさまは思わず心がなごむ。会えなかつた日はイタチにでもやられちゃつたのではと心配する。香流川の「遊歩道」の「ジョギング・ウォーキング」は暫く病みつきになりそうである。

胃腸科内科・循環器内科・皮膚科・リハビリテーション科

医療法人 佐原病院

〒966-0838 喜多方市字永久7689-1 TEL:0241-22-5321
URL: <http://www.sawara.or.jp>

佐原 圭 (高46回)

介護老人
保健施設

ケアホームやまと

佐原指定居宅介護支援事業所

高郷診療所

小規模多機能型居宅介護
ファミリーさわら
サービス付高齢者向け住宅

グループホームさわら

グループホームひまわり

グループホームさくら

テイサービスさわら

地域応援



あなたといっしょ、いい未来
会津信用金庫

理事長 星 幹 夫 (高21回)

〒965-0035

会津若松市馬場町2番16号
TEL 0242-22-7555



おくやみ

(平成28年8月25日現在)

恩師

〔氏名(教科)・物故年月日〕

齋藤重幸 先生 教頭

28・1・2 (90歳)

長嶋恒義 先生 国語

28・2・28 (89歳)

手代木健 先生 数学

28・5・20 (85歳)

三浦多可志先生 理科・物理

28・3・4 (85歳)

村野井ヨシ子先生学校事務

28・5・20 (79歳)

山田和彦先生 国語

28・1・10 (72歳)

会員

〔卒業回次・氏名・物故年月日〕

中44 鈴木善九郎 28・2・9

中45 増子 種郎 28・4・30

中45 齋藤 正 28・1・18

中49 白井 忠義 28・1・2

(92歳)

高2 菅沼 一雄 28・8・18

高2 和田 晃耀 28・6・23

高2 高橋 寿浩 28・6・23

高2 新藤 裕 27・10・23

高2 佐藤 孝平 27・12・29

高2 古宮 喬平 27・11・18

高2 五十嵐 二朗 27・1・16

高2 浅見 孝雄 28・3・6

中49 山口 佐幸 28・2・7

(92歳)

中49 江川 利衛 28・8・15

中51 小川 益 28・8・21

中51 渡部 松喜 28・6・4

中51 稲富 正昭 28・3・22

中51 羽金喜與二 28・5・8

中52 佐原 賢治 28・3・3

中52 白井 傳巳 28・3・29

中52 大越 武市 27・11・4

中52 菅 正保 26・7・15

中53 大越 健 27・9・25

中53 高橋 庄平 26・9・14

中53 佐藤 栄一 27・11・26

中53 山口 芳次 28・2・21

中53 渡部 正人 (旧 岩澤)

中54 手代木 健 28・2・17

中54 外島 健蔵 28・5・20

中54 渡部 良明 28・2・24

中54 村野井幸雄 28・7・30

中55 齋藤 邦夫 28・3・11

中55 浅見 孝雄 28・3・6

中55 五十嵐 二朗 27・1・16

中55 古宮 喬平 27・11・18

中55 佐藤 孝平 27・12・29

中55 新藤 裕 27・10・23

中55 高橋 寿浩 28・6・23

中55 和田 晃耀 28・6・23

中55 菅沼 一雄 28・8・18

高3 古川 一吉 27・10・10

高3 細井 冷一 28・4・14

高3 上野 邦男 27・12・12

高3 小池 勝男 28・8・17

高3 佐藤 暹 28・3・24

高3 齋藤 武美 27・11・11

高4 折端洋一郎

高4 大庭 輝夫

高4 鈴木 康睦

高4 高久 晃

高4 滝口 昇

高4 長谷川五郎

高4 雪下 文喜

高4 横田 昌昭

高4 渡部 公治

高4 渡部 静雄

高4 島田 裕

高4 竹田 安広

高4 二瓶 益三

高4 高橋 誠

高4 長沼 源治

高4 星 敬

高4 皆川 武

高4 古川 雅弘

高4 山口 博統

高4 齋藤 守夫

高4 塚原 喜朗

高4 中川 広之

高4 湯田 康男

高4 湯谷 廣道

高4 佐野 忠義

高9 須佐 智信 28・7・6

高9 諏訪 敦雄 28・6・6

高9 田中千代吉 28・8・1

高9 野宮 希典 28・7・18

高9 松井 丘司 28・2・5

高9 小林 文武 27・10・30

高9 佐野 剛 27・7・19

高9 渡部 義道 28・3・22

高9 出野 圭 27・7・19

高9 荒木 孝 27・12・30

高13 古川悠一郎

高13 横山太郎

高13 吉田 義信

高13 岩村 英明

高13 酒井 亜郎

高13 鈴木 武喜

高13 舟木 悦男

高13 渡部 進

高13 伊藤 道人

高13 遠藤 哲夫

高13 大類 利郎

高13 笠間 涉

高13 黒澤 陽一

高13 小林 裕行

高13 佐藤 茂

高13 白井 孝

高13 田中 裕二

高13 高久銀三郎

高13 東田 達夫

高13 東條 恒雄

高21 須佐 智信 28・7・6

高21 諏訪 敦雄 28・6・6

高21 田中千代吉 28・8・1

高21 野宮 希典 28・7・18

高21 松井 丘司 28・2・5

高21 小林 文武 27・10・30

高21 佐野 剛 27・7・19

高21 渡部 義道 28・3・22

高21 出野 圭 27・7・19

高21 荒木 孝 27・12・30

高21 古川悠一郎

高21 横山太郎

高21 吉田 義信

高21 岩村 英明

高21 酒井 亜郎

高21 永井 彰

高21 長澤 寿一

高21 新國 佐幸

高21 馬場 健次

高21 馬場 春男

高21 馬場 均

高21 星 恵一郎

高21 渡邊 國夫

高21 渡部 哲雄

高21 榎田 重良

高21 秦 研祐

高21 福島岩右衛門

高21 青木 繁宣

高21 本多 俊昭

高21 小林 博

高21 石田 剛

高21 舟木 幸広

高21 幸広 26・4・17

お祝い

叙勲

旭日双光章 平 27・11・3

(労働行政功労)

玉川 利衛 (高8回)

瑞宝双光章 平 27・11・3

古川 洋逸 (高8回)

瑞宝双光章 平 27・10・10

(第25回危険業務従事者叙勲)

酒井 武夫 (高15回)



「やすらぎの碑」献花祭に参加された方々

瑞宝双光章 平27・10・10
(第25回危険業務従事者叙勲)
金田 司 (高16回)
(遺贈) 正六位
瑞宝双光章 平28・8・24
(教育功労)
村野井幸雄 (中55回)
瑞宝双光章 平27・11・3
(教育功労)
福島 俊男 (高16回)
瑞宝双光章 平28・2・26
(教育功労・高齢者叙勲)
渡部 光裕 (中51・5回)
旭日双光章 平18・4・29
(地方自治功労)
小川 益 (中51・5回)
旭日小綬章 平28・4・29
(地方自治功労)
鈴木 政英 (高16回)
瑞宝双光章 平28・4・29
(教育功労)
湯田 一秋 (高16回)
瑞宝小綬章 平28・4・29
(教育功労)
鈴木 敏夫
黄綬褒章 平27・11・2
(会津信用金庫理事長)
星 幹夫 (高21回)

黄綬褒章 平27・11・2
(会津商工信用組合理事長)
小島 雄人 (高23回)
藍綬褒章 平28・4・22
(保護司勤務連続30年)
伊藤 賢之 (高9回)
表彰
太田原高昭 (高10回)
日本農業研究所長賞 受賞
(平成28・5・・)
神田青峰 (せいほう)(本名・
神田寛治)(高14回)
第70回福島県総合美術展覧会
受賞
『書』の部県立美術館長賞
受賞
新城猪之吉 (高21回)
第26回みんゆう県民大賞
「ふるさと創生賞」受賞
平成28・5・20
「福島酒蔵」代表へ県酒
造組合会長へ「全国新酒鑑
評会金賞銘柄数4年連続日
本一を達成した。」
会津高校合唱部
平成27年度福島県教育委員
会より特別功績団体として
表彰。

煙 敬之助 (中47回)
平成27年度会津若松市文化
芸術功労賞
平成27・11・3
山田 和彦 (元会高教員)
平成27年度会津若松市文化
芸術功労賞
平成27・11・3
遠藤洋一郎 (高13回)
平成27年度県外在住功労者
知事表彰
平成27・12・7
前・学研ホールディングス
社長
就任
東北市議会議長会理事
福島県市議会議長会副会長
渡部孝雄 (高21回)
平成28・4・14 (喜多方市
議会議長)
山内 正之 (高29回)
福島県立会津高等学校校長
平成28・4・1
佐藤 清丸 (高26回)
県・農林水産部技監
平成28・4・1
大谷 誠二 (高26回)
県・県北建設事務所長
平成28・4・1

山口 仁 (高31回)
南会津(田島)警察署長
平成28・4・1
佐藤 玄 (高21回)
河沼郡会津坂下町教育長
平成23・10・1
本田 樹 (高24回)
会津若松市・教育長
平成27・10・1
本間 稔 (高24回)
福島市・教育長
平成25・10・1
五十嵐 守 (高29回)
会津若松市・建設部長
平成28・4・1
根本 一幸 (高31回)
会津若松市・水道部長
平成28・4・1
渡部淳一 (高27回・一箕小)
県・小学校長会副会長
平成28・4・20
酒井完 (高21回・若松二中)
県・中学校長会副会長
平成28・4・20
角田 行雄 (高19回)
只見町教育委員長(再任)
平成28・1・5
穴澤 耕二 (高24回)
福島県労働委員会委員(3
部のうち)使用者委員
平成26・6・20

(再任) 平成28・6・20
最高裁判所・福島地方裁判
所所属・労働審判員
平成18・4・1
(再任) 平成28・4・1
小林 正一 (高6回)
会津若松市区長会会長
平成28・4・27
当選
下郷町議会議員
玉川 邦夫 (高22回)
平成28・3・27
会津坂下町議会議員
平成28・4・1
五十嵐正康 (高34回)
赤城 大地 (高61回)
話題の著作
新井田 晃 (高7回)
「世界マラソン制覇に挑む」
「随想」
竹田 政弘 (高24回)

会報No.45の正誤表
P 32 會中55回・會高
2回の記載中
末尾4行(同窓会ゴ
ルフ)取りました。
↓末尾4行全文(39
文字)を削除。
P 46 おくやみ記事
高2 小滝 貴司
↓ 小瀧 貴司
上から3段目
大塚 一彦
↓大東 一彦
P 47 最上段 佐藤一
美氏の就任役職名不全
↓北海道・東北町村
議会(議長会会長)
町野 紳氏の卒業回次
空欄
↓(高26回)
2段目 (会津若松市
議会議員氏名中)
横山 敦
↓横山 淳
内藤 基
↓内海 基

創立 125 周年記念・同窓会名簿発刊



名簿委員会

委員長	中島 重治 (高 21 回)
副委員長	桑原 大 (高 34 回)
//	若林 経一 (高 35 回)
//	古川 恵一 (高 35 回)
委員	田中 大介 (高 44 回)
//	佐藤 義憲 (高 45 回)
//	斎藤信太郎 (高 48 回)
参 与	千葉 宏 (高 8 回)
//	戸川 稔朗 (高 19 回)
//	穴澤 耕二 (高 24 回)
事務局	鷲山 秀俊 (高 30 回)

平成 28 年度会津高等学校教職員人事異動

1 転退職者等

丹藤 茂 校長→退職
 佐藤公文 教諭 (英語) →退職
 渡部孝男 教諭 (英語) →郡山東高校教頭 (昇任)
 阿部文子 教諭 (国語) →川口高校
 鈴木将敬 教諭 (地歴) →安積高校
 松浦芳朋 教諭 (数学) →喜多方桐桜高校
 羽田裕子 教諭 (理科) →船引高校
 磯目貴子 養護教諭 →川口高校
 植田 茜 講師 (英語) →退職
 熊坂仁志 講師 (保体) →退職 (小高工業高校新採用)
 鈴木正臣 講師 (数学) →退職
 小椋美紀 主査→清陵情報高校
 田中信乃 学校司書→図書館

2 転入者等

山内正之 校長←会津学鳳高校
 森田 信 教諭 (英語) ←高校教育課
 齋藤正志 教諭 (数学) ←会津工業高校
 室井真仁 教諭 (保体) ←白河旭高校
 川島香織 教諭 (英語) ←若松三中
 鈴木明香 教諭 (国語) ←新採用
 佐藤公文 講師 (英語) ←会津高校
 四家裕子 講師 (地歴) ←会津高校
 小笠原優 講師 (数学) ←会津学鳳
 三橋和佳 期付養護教諭←川口高校
 大江由貴 主事←南会津地方振興局
 佐野有希子 学校司書←磐城農業高校
 磯谷真地 非常勤事務補助員←

編集後記

今年度の会報から、今までとは変わった状況が生まれました。その最大の点は、長年編集長を務められた佐藤隆夫氏がサブに回られたことです。ベテラン不在の中で、原稿依頼や広告依頼など不安だらけのため、佐藤隆夫氏、千葉宏氏には、編集委員会顧問になっていただきました。

次に変わった点は、会報がスリム化したことです。昨年は 48 ページでしたが、今年は 32 ページに縮小されています。しかし、会員各位の母校に寄せる思いや豊富な体験、交流、随想、などをできるだけ多く掲載したいとも考えました。少ないページ数の中に多くの方々の声を載せようとすれば、どうしても字数制限をせざるを得ず、勝手に添削させていただいたり、本人に書き直していただいたりもしました。また、集合写真なども小さくせざるを得ず、ページに合わせて縮小させていただきました。趣旨ご理解の上、なにとぞご容赦下さい。

同窓生の魂のこもった寄稿文を出来るだけ読みやすくと考えながら編集しましたが、到らぬ点が多々あることと思われまふ。来年度のためにもぜひご意見と共に指導いただきたいと思ひます。

編集委員長 佐藤 紘一 (高 13 回)



編集委員名

- 顧 問 佐藤 隆夫・千葉 宏
- 委員長 佐藤 紘一
- 学校主任 瓜生 浩 ◦ 学校会計 佐藤 繁
- 校内委員・半野 裕務・遠藤 紀通・大木 孝之
- ・増井 伸郎・棚木 武彦・森田 信
- ・室井 真仁・川島 香織